

令和4年度 学校自己評価システムシート (県立大宮工業高等学校 全日制)

| | |
|--------|--|
| 目指す学校像 | 日本を支え 世界で活躍する 人間性豊かなエンジニアの育成 ～ 中学生に憧れを！ 在校生に自信を！ 卒業生に誇りを！～ |
| 重点目標 | 1 主体的に取り組む力を育て、学力向上を目指した授業改善を図る 2 自ら律する規律性を育て、自他を大切にできる心を育成する 3 物事を探求する力を育て、望ましい勤労観、職業観を育成する 4 協働教育により、社会に開かれた教育課程を実現する |

| | | |
|-----|---|--------------|
| 達成度 | A | ほぼ達成 (8割以上) |
| | B | 概ね達成 (6割以上) |
| | C | 変化の兆し (4割以上) |
| | D | 不十分 (4割未満) |

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

| | | |
|-----|----------|---|
| 出席者 | 学校関係者 | 名 |
| | 生徒 | 名 |
| | 事務局(教職員) | 名 |

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

| 学 校 自 己 評 価 | | | | | | | 学 校 関 係 者 評 価 | |
|-------------|---|--|--|---|---------------------------|-------|-----------------------|-----------------------------------|
| 4 年 度 目 標 | | | | | 4 年 度 評 価 (2 月 日 現 在) | | 実 施 日 令 和 年 月 日 | |
| 番 号 | 現 状 と 課 題 | 評 価 項 目 | 具 体 的 方 策 | 方 策 の 評 価 指 標 | 今 年 度 の 評 価 項 目 の 達 成 状 況 | 達 成 率 | 次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策 | 学 校 関 係 者 か ら の 意 見 ・ 要 望 ・ 評 価 等 |
| 1 | 【現状】授業や資格取得に対して主体的に取り組む生徒が増加傾向にある。授業や学校生活に前向きに取り組む姿勢が見られる。 【課題】学科間連携を推進し、授業や資格取得に積極的に取り組める環境を整え、学習意欲の向上と共に、自ら考える力を引き出す必要がある。 | ・学習意欲の向上を目指した授業の改善 | ①指導と評価の一体化を目指し、生徒に好奇心や達成感を味わわせることができる課題や学習内容、学習方法を工夫・検討し実施する。 ②各教員が「主体的対話的な深い学び」を引き出す授業に取り組むとともに、ICTを積極的に活用し、DX時代に対応できる力を身に付けさせる。 | ①生徒アンケートの「自主学習することが習慣化している」が前年度より上昇したか。 ②生徒アンケートの「授業に主体的、積極的に取り組んでいる」が前年度より上昇したか。 | | | | |
| | | ・資格取得に向けた指導の充実 | ①生徒や保護者に対し積極的に資格取得に関する情報を提供する。 ②資格取得に向けた特別講座等を計画的に実施し充実させる。 | ①生徒アンケートの「資格取得が充実している」が前年度より上昇したか。 ②資格取得に向けて、取り組む生徒が前年度に比べて上昇したか。 | | | | |
| 2 | 【現状】Withコロナに対応した生活習慣の改善と規範意識の醸成を図る必要がある。 【課題】基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成を図るため、これまで以上に教育活動全体をととした指導を行う必要がある。 | ・基本的生活習慣の確立 ・自己肯定感の醸成 | ①生徒指導部と学年・学科が連携し、遅刻防止指導や規範意識の醸成への取組みを組織的に行う。 ②学校行事を中心に生徒の主体的な活動を推進し、学校を誇りに思える生徒の育成に努める。 | ①遅刻者数が前年度より減少したか。 ②生徒アンケートの「宮工に入学して良かった」が前年度より上昇したか。 | | | | |
| | | ・5S、Kaizenの定着 ・SDGsの意識化 ・自己管理能力の向上 | ①社会の問題発見・解決力を向上させるとともに、5S、Kaizenを定着させる。 ②日常の学びの中でSDGsを意識させる。 ③組織的に生徒手帳を活用する機会を充実させるとともに、自己管理能力の育成に努める。 | ①生徒アンケートの「5S活動に取り組めた」が前年度より上昇したか。 ②生徒手帳の活用調査で、行事や授業における活用状況割合前年度より増加したか。 | | | | |
| 3 | 【現状】新型コロナウイルス禍においても、10月の就職試験の合格率は、全国平均よりも10ポイント高い水準である。 【課題】分掌および学年が連携するとともに、地域の教育力を活用し、生徒の勤労観や職業観の育成のための指導方法を検討・実践する必要がある。 | ・社会人基礎力、キャリア教育の充実 | ①学習活動や部活動、学校行事をとおして、考え抜く力(課題発見力、計画力、創造力)、たどり着く力を育成するために、計画的に取り組む。 ②各教科・学科と学年が連携し、学校における諸活動を通じて、生徒が将来の目標に向けて前に踏み出す力の育成を図る。 | ①生徒アンケートの「委員会活動や部活動、学校行事へ積極的に参加した」が前年度より上昇したか。 ②部活動加入率が上昇したか。 | | | | |
| | | ・地域教育力の活用 ・勤労観の醸成 | ①進路指導部、体験活動委員会、学年等が連携し、インターンシップや進路ガイダンス、外部講師による講話などを計画的に実施する。 ②各教科・学科と学年が連携し、生徒の活動の成果を発表・発信する機会をつくり、表現力や傾聴力の伸長を図る。 | ①生徒アンケートの「進路行事に積極的に参加している」が前年度より上昇したか。 ②課題研究発表会やインターンシップをはじめ、地域の教育力を活用した本校の特徴ある取組を学校内外に伝えることができたか。 | | | | |
| 4 | 【現状】地域、企業との連携による協働教育は浸透しつつある。本校の魅力を伝えるため、情報発信に努めている。 【課題】地域社会の連携を強化し、社会に開かれた教育課程を推進する必要がある。 | ・協働教育の実践 ・積極的な魅力発信 | ①協働教育を実践し、地域社会とのつながりを深め、地域社会との連携を強化する。 ②学校HPの更新やその他刊行物の定期的な発行・配布など広報活動及び他校種連携を積極的に行い、本校の魅力を学校内外に発信する。 | ①地域との連携を深める取り組みを積極的に実施し、指導改善と学習改善に取り組むことができたか。 ②本校の魅力を学校内外に十分伝えることができたか。 | | | | |